

千葉国体 2010
バスケットボール競技会に
県代表として3人が出場

9月26日から千葉県船橋市で開催された“千葉国体”バスケットボール競技会少年男子に、本宮市から3人の高校生が福島県代表として出場しました。

出場したのは、福島工業高校3年、平龍太郎さん（本宮字万世）、同じく三浦史門さん（青田字ヌカリ）と今回代表チームの主将を務めた福島商業高校3年佐藤龍馬さん（本宮字万世）の3人。



▲左から平龍太郎さん、佐藤龍馬さん、三浦史門さん

代表チームは初戦の島根戦に快勝しましたが、2回戦の福岡に67対82で惜しくも敗れました。

ねんりんピック石川 2010
高橋さんクラウンド・ゴルフ
交流大会に出場



10月6日、高橋安子さん（高木字井戸上）は、10月9日から11日にかけて石川県かほく市で開催される“ねんりんピック石川 2010”グラウンド・ゴルフ交流大会に福島県代表選手として出場する報告のため市役所を訪れました。

佐久間教育長から激励を受けた高橋さんは、「頑張ります」と大会での活躍を誓いました。

敬老祝金を贈る
いつまでもお元気で

9月22日から24日にかけて、77歳の喜寿、88歳の米寿、99歳の白寿を迎えられた475人の皆さんに敬老祝金が贈られました。

皆さん、いつまでもお元気で過ごしてください。



▲佐藤市長から敬老祝金を受け取る白寿の兼谷きみさん（本宮字上町）。毎日散歩を欠かさないそうです。

スポーツ選手活用体力向上事業
本宮小学校で
元プロサッカー選手が熱血指導

10月6日、本宮小学校に元横浜フリューゲルスのエースストライカー 前田 治さんを招いて、サッカー教室が開催されました。

これは、文部科学省と財団法人日本体育協会主催の「スポーツ選手活用体力向上事業」として開催されたもので、講話は4年生から6年生を対象に、実技指導は6年生を対象に行われました。

前田さんは「夢を持ってからが大事。目標ができたならそれに向かって努力すること。いろんなことにチャレンジして、できなくても繰り返しやること」と児童たち熱く語りかけました。



おめでとうございます

危険業務従事者叙勲

10月9日に政府は、危険業務従事者叙勲の受章者を発表しました。市内から次のお二人が受章しましたのでお知らせします。

瑞宝双光章



▲篠木 広充 さん
(本宮字塩田入)

【篠木さん略歴】昭和33年、県警採用。喜多方署を振り出しに主に刑事部門を28年歩む。数多くの事件などを捜査、平成元年から4年まで本宮警察署に勤務した。

【篠木さんの声】どの署も忙しかったが、楽しく仕事に打ち込みました。辛く忙しいイメージがあるが、素晴らしい上司や同僚のおかげで充実した毎日を過ごせました。

瑞宝単光章



▲鈴木 峯夫 さん
(本宮字南町裡)

【鈴木さん略歴】昭和39年、県警採用。会津若松署を振り出しに主に地域部門を歩み、6カ所の駐在所・派出所に勤務し、地域住民のために尽力した。

【鈴木さんの声】警察官として当然のことをしてきただけです。仕事を最後まで全うできたのは、勤務地の皆さんのご協力あつたことと思います。

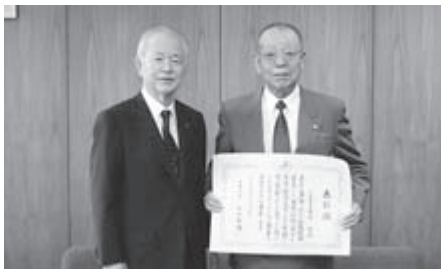
受賞おめでとうございます!!

◆藤井 剛さんに総務大臣表彰

長年にわたり行政に対する苦情や意見要望を聴き、その解決に尽力された行政相談委員の藤井剛さん(長屋字浦門)は、総務大臣表彰を受賞されました。

藤井さんは平成9年4月から行政相談委員を務め、今年で14年目となります。

これからもお世話になります。



▶ 10月15日に市役所に受賞報告に訪れた藤井さん。

◆清水マサ子さんに法務大臣表彰

長年にわたり人権相談や悩み事相談に応じている人権擁護委員の清水マサ子さん(本宮字万世)は、法務大臣表彰を受賞されました。

清水さんは、平成10年9月から12年1カ月人権擁護委員を務めています。

これからも、お世話になります。



◀ 10月12日に市役所に受賞報告に訪れた清水さん。

シリーズ

「未来に輝くまちづくり」(28)

本宮市長 佐藤 嘉重



本宮市では、「郡山女子大学」、「福島大学」、「日本大学」、「相模女子大学」の4大学と連携し、各種事業を展開しています。

郡山女子大学は、本宮市民元氣いきいき応援プラザ(愛称・えはか)のオープンを機に、子育て支援事業や高齢者交流事業の実施に際し、学生の協力をいただいています。

福島大学では、本市の地域づくりや政策課題などについて、必要に応じ合同で調査研究を行っています。

また、日本大学(経済学部・東京)と相模女子大学(神奈川県)とは、交流事業を通して、農業農村の活性化を図るとともに、首都圏における本市のPRや農産物の販路拡大に協

力をいただいています。今年度もすでに、日本大学から47名、相模女子大学からは35名の学生が本市を訪れています。全員が農家に民泊しながら、農業体験などを行いました。学生の本市に対する印象を聞いてみますと、「人が温かい」、「空が広い」、「食べ物がおいしい」など、改めて本市が持つ地域資源の豊かさを実感した次第です。慣れない農作業は大変そうでしたが、「また本宮に来て、農業をやりたい!」という嬉しい声も多く聞かれました。

各大学との連携事業は、本市に新しい風を吹き込んでいます。また、人と人、地域と地域のつながりの中で、新たな可能性が広がっています。

今後さらに、各大学との連携を強化し、充実を図りながら、地域の活性化につながる事業を実施してまいります。